

2013 年度精密工学会春季大会国際シンポジウムのご案内

“ International Symposium on Application of Precision Engineering to Support Next Generation Astronomical Telescopes ”

開催日 平成 25 年 3 月 14 日 (木)

企画: 中部大学生産技術開発センター

協賛: 宇宙航空研究開発機構, 日本天文学会, X線結像光学研究会, 日本機械学会, 応用物理学会(予定)

現在, 口径数十 m の次世代超大型光学望遠鏡 E-ELT・TMT・GMT やX線天文衛星 ASTRO-H の開発が国際協力で行われています。その中では精密工学から見て興味深い技術が使われています。このシンポジウムでは, 天体望遠鏡の開発動向, 大型反射鏡(軸外し非球面部分鏡の集合鏡)を製作するための加工技術・計測技術等について最新の話題をお聞きします。日本の産業界は, 以前は国内企業との, 現在は東アジアの国々と熾烈な競争を行い, 消耗戦が続いています。技術流出も大きな問題です。そのような日常を離れて, 参加者が共通の話題に対し利害を超えて話合える分野が天文学です。また, X線望遠鏡用反射鏡の実物展示ほか関係資料の展示も計画しています。

開催日時 平成 25 年 3 月 14 日 (木) 9:20~16:10
会場 東京工業大学 大岡山キャンパス 西 5 号館 2 階 W521 講義室 (春季大会会場内)
使用言語 英語
参加費 無料 (参加申込が必要です。下記の URL より登録をお願いいたします)

プログラム

時間	講演題目	講師
[Chair: 栗木 久光 (愛媛大学)]		
9:20-9:30	Introduction	名古屋大学 山下 廣順
9:30-10:10	Status of ASTRO-H Project	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 高橋 忠幸
10:10-10:50	Next-Generation Extremely Large Telescopes with Segmented Off-Axis Mirrors	英国 ジーコ社 Richard FREEMAN
10:50-11:20	Status of Wide Field X-Ray Telescope (WFXT)	伊国 プレラ天文台 Giovanni PARESCHI
(11:20-11:30 休憩)		
[Chair: 小川 秀樹 (イネイブル)]		
11:30-12:00	Evolution of Stitching System for Sub-Aperture Interferometric Data Derived from On-Machine Measurement of Large Format Optics	英国 ロンドン大学(UCL) Christopher W. KING
12:00-12:30	Precision Free Form Measurement and New Technology of UA3P	パナソニック プロダクションテクノロジー 久保 圭司
(12:30-13:30 昼食休憩)		
[Chair: 竹内 芳美 (中部大学)]		
13:30~14:00	Quick Shape Measurement of Large Off-Axis Mirrors by Computer Generated Hologram	京都大学大学院 木野 勝
14:00~14:30	Advanced Ion Beam Finishing Technology for High End Optics	独国 NTG Neue Technologien 社 Axel SCHINDLER
14:30~15:00	Corrective Finishing Processes for X-Ray Telescopes after ASTRO-H	中部大学生産技術開発センター Anthony BEAUCAMP
15:00~15:05	Closing Remarks	中部大学 難波 義治
15:10~16:10	名刺交換会 (日本語を含め, お好きな言語で交流を深めて下さい。)	

参加申込は, <http://production.isc.chubu.ac.jp/cgi-bin/regist.cgi> より登録をお願いいたします。